

湖西市立東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年5月27日(木)

初体験にみんなワクワクでした！

歴史の授業が始まる時期で、歴史のおもしろさが実感できる体験ができ、今後の社会科の授業に役立つものになりました。本物の石器や土器に触れたり、火起こし体験を通して古代の人々の暮らしを思い描いたりしていました。

◎石器の試し切り体験

初めに石器について学び、打製石器や磨製石器を興味深く触って、感触を確かめていました。その中で黒曜石が主に伊豆諸島や長野県でしか採れない貴重な石であることを知り、大変驚いていました。次に黒曜石を使って野菜を切る体験をしました。今回は、自分たちが学校で育てているジャガイモを切り、堅い物も切れることを体験できました。



◎土器分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器についての説明を詳しく教えてもらった後、実際に静岡県内で出土した土器片を手に取り、重さや肌触り、模様などを実感しながら、各班で分類してみました。

それぞれの時代の土器の特徴や違いを話し合いながら楽しく分類することができました。



◎火起こし体験

雨の中の火起こしということで、少し不安がありましたが、デモンストレーションも成功し、子どもたちもたくさんの班が火を起こすことができました。初めは、なかなか弾み車をリズムよく回すことができなかったのですが、慣れてくると火種を作ることができました。湿気があったので火種から火にする「フーフータイム」には苦勞しました。体験後は、先生が子どもたちに「帰ったらこの道具をきれいに洗ったり直したりするんだよ。」と細かなことまで話をしてくださっていて感心しました。

